

裏側全部教えます GR86のTVCM撮影現場潜入レポート!!

2022年6月10日発行・発売(3・6・9・12月の毎10日発行・発売)
第14巻3号通巻88号
ザッカー | 86&BRZマガジン

X2CAR 86 & BRZ magazine

036

2022 Summer
[7月号]

Aut Messe Web
<https://www.automesseweb.jp>

失敗しない「サスペンション選び」



TOPIC

[特集]

注目のトピック

新旧86&BRZの魅力

10

質感の向上したGR86に マッチする新素材レザー

ストリートを主戦場として支持を集めるスポーツシートメーカーといえばブリッド。それと並行しプレミアムラインとして展開しているブランドが「edirb」(エディルブ)だ。ベースとなったブリッド各モデルのホールド性、堅牢性などバケットシートに求められる基本性能はそのままにエレガンスとコンフォータブルを両立した、アッパークラスな仕立てのシートが揃う。一新された中核ラインアップが、いよいよ5月23日より受注スタートとなった。

素材はオールレザー(人工皮革)。しかし部位によって皮革を使い分けられている。SDGsの観点からも期待されるプロテインレザーを基本に使用しながら、背面・座面はパンチング加工されたウルトラスエード素材としている。日常の乗り降りで擦れがちなサイドサポート部などには耐久性の高い「ビガブリモ」という新素材を、新世代である0A1/0B1/161/162/171/172に採用している。

機能そしてタッチの良い素材を組み合わせたマルチマテリアルであるが、そこにはちぐはぐ感は皆無。すべてが調和し高級感を放っている。

前述の新世代群に共通しているのは、サイドサポートの部分にキルティング加工を施している点。欧州スーパーカーからの流れのトレンドをキヤッチアップし、製品へと落とし込んでいる。また背面を縦に貫く「エレガンスライン」。これらがベイスのブリッドにはない、edirbとしてのアイコンとなっている。ターゲットには輸入車も含まれる

最新作edirbシリーズに早くも 織戸SPLが誕生か!?

メイド・イン・ジャパンのスポーツシートにおけるトップブランドであるブリッド。あくなき製品改良の姿勢は、年毎に投入されるニューモデルの進化で実証されている。高い機能性はそのままだ、高級感をまとったedirb新シリーズがいよいよ受注開始された

文●畑澤清志 写真●増田貴広(本誌)/BRIDE



助手席は乗降性を考えてニーサポートの低い171をチョイス。リクライニングバケットのトップモデルが左右両脚で揃うという垂涎の組み合わせだ

「インテリアの質感が上がったGR86にはedirbがよく似合うね」と織戸選手。プロデュースするエアロ(P32〜)にも通じるオトナの世界観と同調した雰囲気だ

TOPIC
6

©130R YOKOHAMA ☎045-595-9728 <http://130r-yokohama.com/>





「559」はおなじみ織戸選手のラッキーナンバー。長女的美莉さんと次女の茉彩さんの誕生日をミックスした数字だ。後続車にもさりげなくアピールする

というキャラクターの edirb だが、86 & BRZ にも絶妙にマッチする。実際に織戸選手のマイカーに装着してみると、グレーステッチの運針のピッチが純正ドアトリムやシフトブーツのステッチとよりふたつ。背面のパンチングレザーからうつつらのぞくレッドの生地もまたインテリアの配色に溶け込み、リヤシート表皮ともそっくりだ。まるで GR 86 のためにオーダーされたかのような雰囲気を感じていた。

そしてここで特報だ。織戸選手が特別にあつらえた edirb を取材班に見せてくれた。それは「織戸スペシャル」という仮称で進められているプロジェクトのようで、シート上部には「MAX ORIDO」のロゴマークと、背面には「559 YOKOHAMA」ロゴが刺繍されていた。織戸選手のファンならずとも、かなりグッとくる特別仕様だ。

「まだ試作品の段階だけど、反響しただいでは市販するかもしれない。みんなの意見をぜひ聴かせてほしい」とのことなので、縁の深いこのビッグネーム同士のコラボ、食指が動いた諸兄は織戸選手にラブコールを届けてみよう。



edirb161 織戸スペシャル (仮称)

ベースは織戸選手も開発に携わったガイアスⅢ。バケット形状でありながら、2度刻みでベストポジションを見つけやすいバックレスト調整機構も付く



edirb171 織戸スペシャル (仮称)

ベースはストラディアⅢ。どちらもまだプロトタイプが完成したばかりで発売の可能性や価格を含め、これから詰めていくという。反響の大きさが市販を決定づける可能性もある

織戸SPLのベースはこちら



edirb 161
32万4500円

edirb 162
32万4500円

商品名の末尾「1」は腿部のクッションに厚みをもたせたスタンダードタイプ。「2」はロータイプのクッションを指す



ホールド性を重視したサイドサポートが高い161/162

背部・座部・腿部の交換用クッションも用意される予定なので、アフターサポートも安心だ



乗降性を重視したサイドサポートが若干低い171/172



edirb 171
31万3500円

edirb 172
31万3500円



リクライニングレバーは左右に付く。GR86 (ZN8)、BRZ (ZD8) の助手席交換には、重量検知に対する制御ユニットの「MMU (メモリー・マネジメントユニット) 3万9600円」が必要。今回紹介の edirb に搭載する着座センサーと「MMU」を組み合わせでご使用ください



さりげなくのぞくカーボン柄のシェルがポテンシャルを物語る

“プレミアム・フルバケ” 新ライン0A1/0B1も誕生

フルバケのラインも2機種を発表した。edirb 0A1はジータⅣがベース、同0B1はジークⅣがベースとなっている。それぞれグレーステッチ、レッドステッチが選択できる。

edirb 0A1
21万6700円



edirb 0B1
23万1000円